

# 「家がいいね」 第97号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2012. 6. 13

太陽は変わらないけれど

金環食で大騒ぎの日がありました。私も曇り空だなあと、つい空を見上げて、運よく欠けた太陽を見つけました。何百年に一度というような感激ではなく、静かなイメージが湧きました。



太陽があり、月もあって、その重なりが作る影が宇宙の中に常時あります。音もなく影は動きます。たまに、その影が地球の上によってきます。地球の上では大騒ぎなのですが、それが不思議です。

なぜに夕陽が懐かしい

大仏山の上に丸く夕陽が沈もうとしていました。急いでカメラに残そうとしたが半分隠れてしまいました。急ぐな、地球よ！ です。



人はなぜ、夕陽に殊更に想い入れをするのでしょうか。五木寛之さんの「親鸞」で、大和の二上山の夕陽に寄せる一文を思い出します。

おやおもわば ゆうひをおがめ  
おやはゆうひの まんなかに  
にしのそらみて なむあみだがつつ  
みだはゆうひの そのさきに

みえ生と死を考える市民の会 講演会

7月8日(日) 13時~15時

津市 三重県総合文化センター

中ホール 会員外も可

佐治晴夫先生(鈴鹿短大学長)



「いのちとつなぐ名の万華鏡」

人間の不思議を考える

大きな災害を経験すると、私たちの存在の根底をゆさぶられるように思います。でも命が終わっても、いのちが続くと思えるのは、なぜでしょうか。私たちは宇宙のひとつかげらとして繋がっています。そんな不思議のひとつをつなぐ宇宙物理学者「佐治博士」にお聴きします。

水に育てられている

いよいよ入梅ですね。生き物には潤いの雨です。でも、雨は鬱陶しいとか嫌だからとこの季節を恨む人もいます。

自然も、人の心も「ふたつよいこと、さてないものよ」なのでイトコ取りはできません。不思議なバランスで保たれているので、私にないものが他人が持っていて、それは喜ぶべきことなのかも知れません。雨の中の往診や訪問看護が多い時期ですが、患者さんや家族にとっては喜ばしいと思います。雨の中を通院する必要がなく、我々の存在価値もあるからです。



縁(えにし)の家では

「つどい場」が機能し  
ゆっくりと話し込む時が  
流れています。  
お気軽にお使いください。  
今のご利用を紹介します。

がん患者と家族のサロン

(毎月 第3木曜 午後)

「終りよければ」いせの会(第2水曜 夜)

「心来」二こころの病いせ当事者会(第1・3水曜午後)

新高地区ふれあい昼食会(ほぼ毎月 木曜の昼時)

「たんぼクラブ」認知症しゃべり場

(奇数月 第1火曜 午後)

二こころの病の家族会(毎月 第4日曜 午後)

休診のお願い

7月14日(土) 臨時休診

島根がんサロン養成塾に出張します。その間の在宅患者さんには看護師・代診医師が対応します。



自宅での人生を  
最期まで支援します

〒516-0805

三重県伊勢市御園町高向 927

電話 0596-20-8104

ファクス 0596-20-8105

メール [homecare@kr.tcp-ip.or.jp](mailto:homecare@kr.tcp-ip.or.jp)

ホームページ <http://isezaitaku.com>